

市川白猿

市川團十郎

一 御町中様益御機嫌克被遊御座恐悅

至極ニ奉存候随先達て家業相止め候

市川白猿義さいきん仕口上申上候

其趣意は来ル亥之年元祖市川

團十郎百回忌ニ當り候白猿申候は

賤き家業之忝く共血縁を以

當時十歳に至迄七代続き申候

事誠ニ八百八町之御贔負故と

心魂にてつし難有仕合奉存升る

下り宗十郎瀬川菊之丞兩人を

頼み則兩人之はからぬを以當顔見世

元祖百回忌追善之口上を申上候乍憚

御回向奉願候當るび蔵義若年には候へ共

血縁ニ御座候間七代目團十郎と改名仕候白猿

存生之内團十郎之名面讓度心願御座候

何茂様方之御ひゐきを便り仕候當團十郎

義は勿論白猿再勤致候は、初日より永當く

御入来之程偏ニ奉希候以上